



2024年5月29日

各 位

会社名 コニシ株式会社
代表者名 代表取締役社長 松端 博文
(コード番号：4956 東証プライム)
問合せ先 取締役常務執行役員 岡本 伸一
(TEL 06-6228-2877)

「中期経営計画 2027(2025年3月期～2027年3月期)」策定のお知らせ

当社は昨年度に「中期経営計画 2026(2024年3月期～2026年3月期)」を策定しスタートしましたが、初年度である2024年3月期に営業利益目標を達成する結果となりました。また、株主還元の一環として取り組んでいる自己株式の取得につきましても、3カ年で計画していた取得額以上の株式を初年度で取得したため、改めて2025年3月期を初年度とする3カ年計画「中期経営計画 2027(2025年3月期～2027年3月期)」を策定しましたので、お知らせいたします。

当社の歩みは、1870年創業の薬種商から始まり、その後、洋酒や工業用薬品の販売から化学品を扱う商社として事業を拡大、1952年には合成接着剤「ボンド」を開発するなど、お客様の願い、社会の要望にお応えしながら「化学」を扱う企業へと変化していきました。現在のコニシグループは、合成接着剤「ボンド」を製造・販売するメーカーとしての「ボンド事業」、創業からの問屋業の流れを受け継ぎ化学品を扱う専門商社としての「化成品事業」、そして関係会社を中心に展開する社会インフラおよび建築ストック市場の補修・改修・補強を目的とした「工事事業」を主力事業として、事業展開を行っております。

今回新たに策定しました「中期経営計画 2027」は、「ボンド」「化成品」「工事事業」のそれぞれが、新規開拓の強化や成長分野への注力をさらに推進し、過去最高となる売上高・営業利益を目指して参ります。

また、生産、物流、DX関連に過去最大規模となる約150億円の設備投資を予定しており、更なる事業拡大に向けた成長投資を行って参ります。なお資本政策につきましては、引き続き株主還元の強化、資本効率の向上を目的に、約50億円の自己株式取得を計画します。

「中期経営計画 2027」の詳細につきましては、次ページ以降の添付資料をご覧ください。

以 上

中期経営計画2027

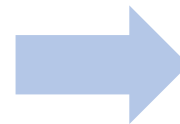
Medium-term management plan 2027





「中期経営計画2026」の営業利益目標を初年度である2024年3月期に達成したため、
改めて「中期経営計画2027」を策定

| | 2026年3月期 目標 (中期経営計画2026) |
|-----------------------------------|---|
| 売上高 | 1,408 億円 (+14.1%) |
| 営業利益 | 97 億円 (+30.9%) |
| EBITDA (営業利益+ 減価償却費+のれん償却費) | 129 億円 (+34.5%) (減価償却費+のれん償却費：約32億円) |
| ROE | 8.0 % |
| 設備投資 | 150 億円 (3年累計) |
| 株主還元 (配当総額+自己株式取得総額) | 120 億円 (3年累計) |

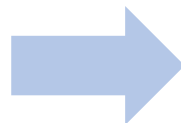


| | 2024年3月期 実績 |
|-----------------------------------|--------------------------------|
| 売上高 | 1,329 億円 |
| 営業利益 | 102 億円 |
| EBITDA (営業利益+ 減価償却費+のれん償却費) | 123 億円 (減価償却費+のれん償却費：約20億円) |
| ROE | 9.4 % |
| 設備投資 | 117 億円 (直近3年累計) |
| 株主還元 (配当総額+自己株式取得総額) | 126 億円 (直近3年累計) |

2024年3月期においては、ボンド事業の販売価格改善による大幅な利益増により、ROEが大きく伸長



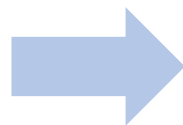
| | 2024年3月期 |
|--|---|
| 売上高 | 1,329 億円 |
| 営業利益 | 102 億円 |
| EBITDA <small>(営業利益+減価償却費+のれん償却費)</small> | 123 億円 <small>(減価償却費+のれん償却費：約20億円)</small> |
| ROE | 9.4 % |
| 設備投資 | 117 億円 (直近3年累計) |
| 株主還元 <small>(配当総額+自己株式取得総額)</small> | 126 億円 (直近3年累計) |



| | 2027年3月期 <small>(2024年3月期比)</small> |
|--|--|
| 売上高 | 1,500 億円 (+12.8%) |
| 営業利益 | 115 億円 (+12.0%) |
| EBITDA <small>(営業利益+減価償却費+のれん償却費)</small> | 145 億円 (+17.0%) <small>(減価償却費+のれん償却費：約30億円)</small> |
| ROE | 9.0 % |
| 設備投資 | 150 億円 (3年累計) |
| 株主還元 <small>(配当総額+自己株式取得総額)</small> | 120 億円 (3年累計) |

重点戦略

- ボンド 非住宅分野の新規開拓
- 化成品 自動車・電子電機業界への販売強化
- 工事事業 社会インフラの老朽化対策工事に注力



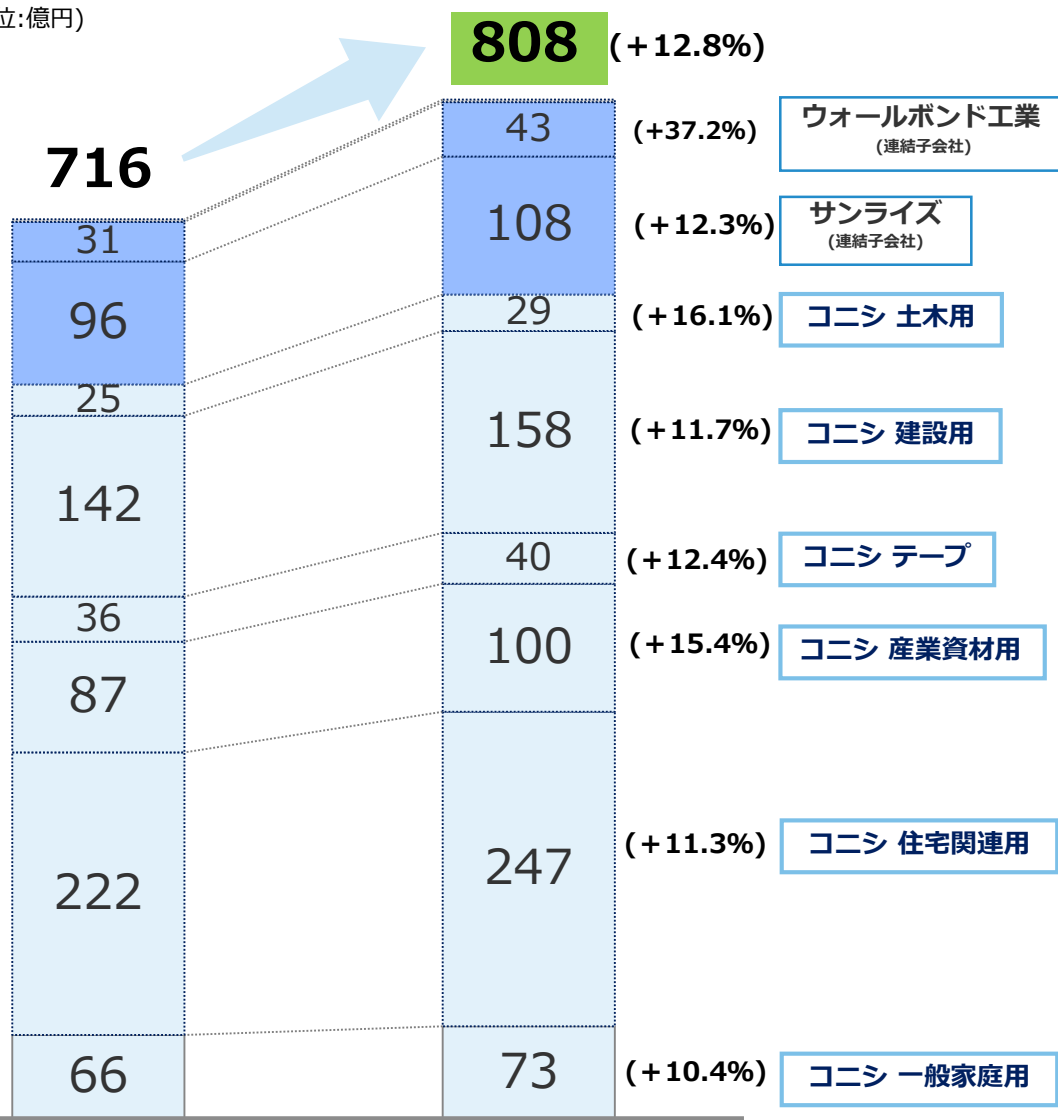
売上高・営業利益ともに、過去最高更新を目指す！

中期経営計画2027 事業戦略 ～ボンド事業（メーカー部門）～



用途別売上高

(単位:億円)



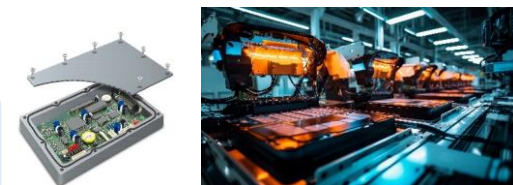
2024年3月期

2027年3月期

① 産業用途の新規開拓推進 ～非住宅分野の強化～

- 電子電機、自動車向けの封止材や接着剤を開発し、新規開拓、シェアアップを図る

事業領域の拡大を進め
売上**13億円増** (2027.3)を目指す



② 社会インフラ・建築ストック長寿命化への取り組み推進

- リペア市場の深耕開拓、土木建築補修用の新製品・新工法開発の推進
- 建築用シーリング材のシェアアップ(シェア約40%→45%)

土木用：売上 **4億円増** (2027.3)
建築用シーリング材：売上 **11億円増** (2027.3)
建築補修材等：売上 **5億円増** (2027.3)



③ 既存主力業界である住宅関連用の更なる拡販

- 集成材用、タイル用接着剤などを業界内でシェアアップを図る
- サンライズ(株) 住宅用シーリング材の拡販
- ウォールボンド工業(株) 壁装用接着剤の拡販

住宅関連用：売上 **46億円増** (2027.3)

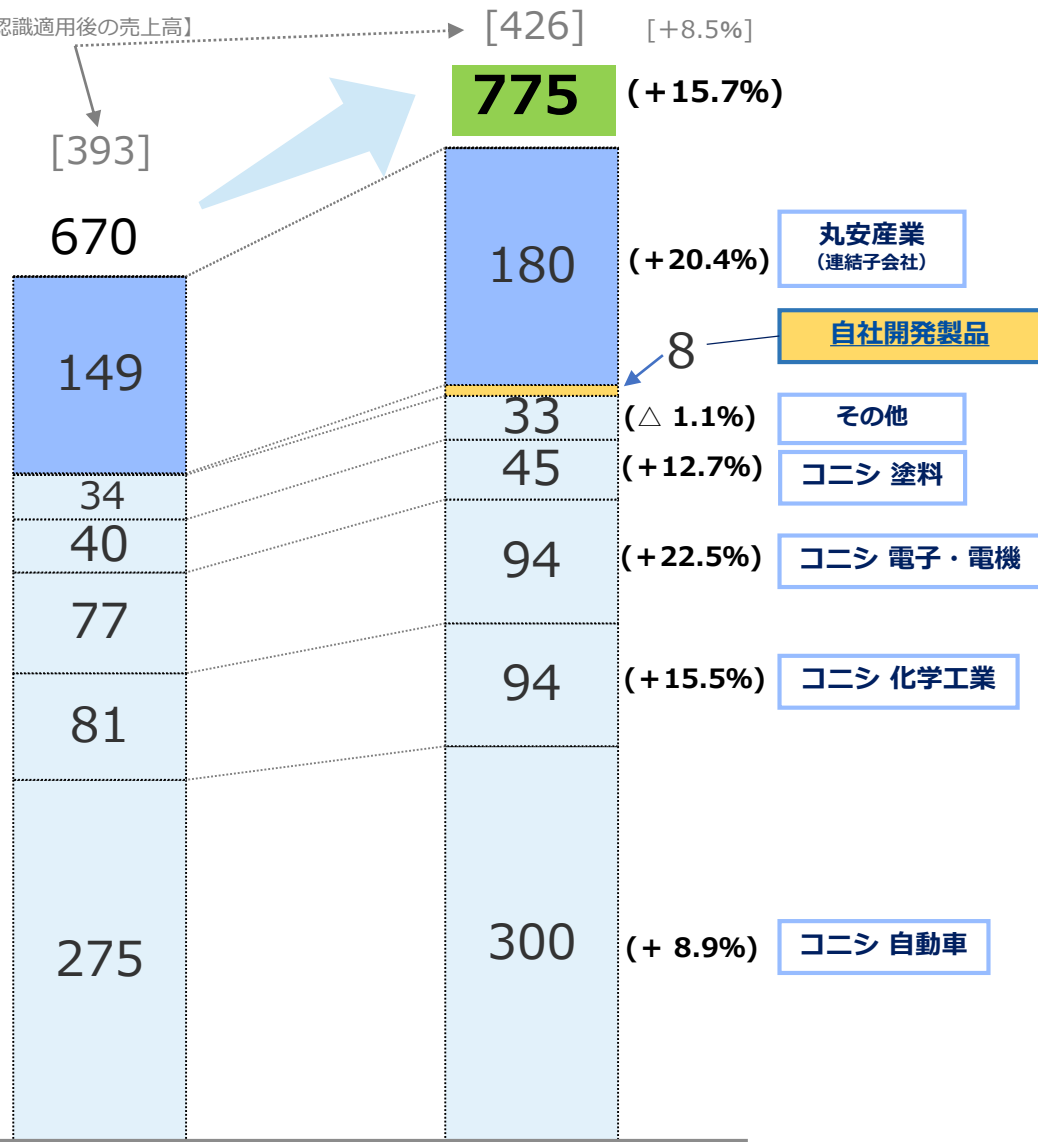
サンライズ 住宅用(+9億円)、ウォールボンド工業(+12億円)含む





業界別売上高

【※収益認識適用後の売上高】



(単位:億円)

2024年3月期

2027年3月期

① 注力分野への販売強化

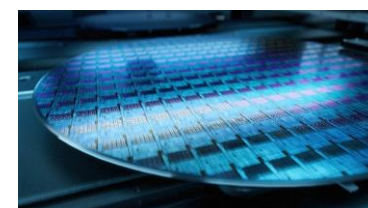
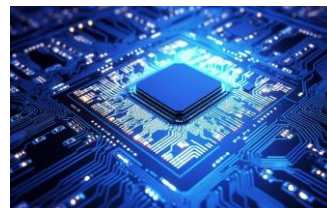
- 自動車、電子電機業界での新規・深耕開拓の推進
 - ◇HV・EV向け商品や放熱材などの新商材の拡販
 - ◇半導体関連商材の販売強化
 - ◇丸安産業 コンデンサ用商材の拡販

自動車、電子電機業界向け：**売上66億円増(2027.3)**
丸安産業の電子電機用(+24億円)含む

② メーカー機能を併せ持つ商社へ

- 自社開発製品の上市、拡販
 - ◇自動車・電子電機業界向け高耐熱、放熱タイプの樹脂材料の開発
 - ◇塗料・コーティング材の開発

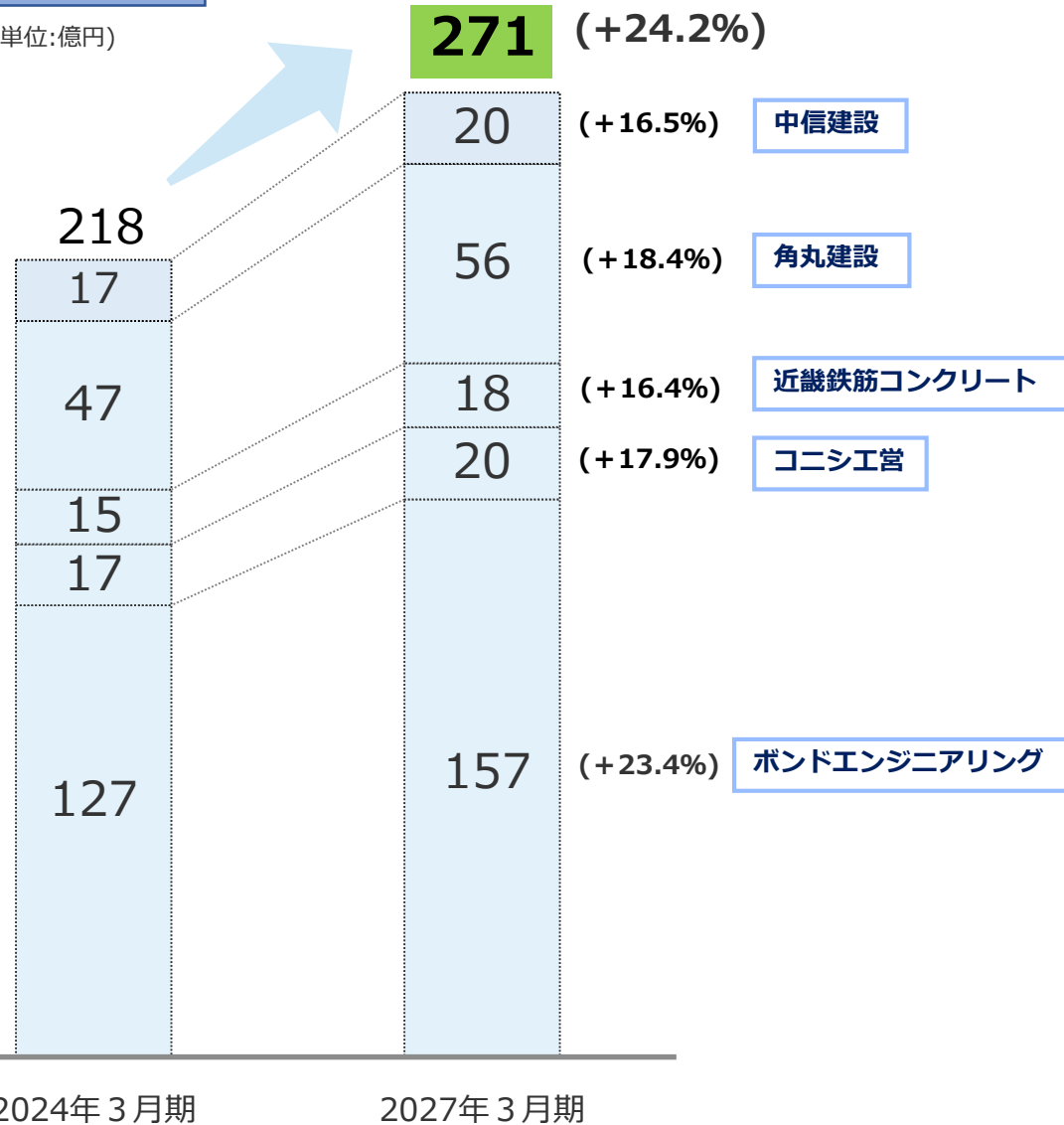
自社開発の推進、市場導入により、
自社開発製品で **売上8億円増(2027.3)**を目指す





関係会社別売上高

(単位:億円)



① リペア市場(土木補修分野)における事業拡大

◇2030年に建設後50年以上を経過する「橋梁」は、約55%となる見込み。

- ・ボンドエンジニアリング(株)を中心に、社会インフラの老朽化対策工事に注力し、更なる事業の拡大を図る。



② 事業規模拡大に向けた体制の構築

- ・土木施工管理技士などの有資格者の採用強化に注力
- ・社内育成による資格取得を推奨



③ M&Aによる事業拡大

- ・社会インフラの補修・改修・補強工事業の中で、特にリペア需要が見込まれる「橋梁分野」で相乗効果が発揮できるM&Aを推進

【工事事業グループ M & A 実績】

- 2013年：近畿鉄筋コンクリート(株)：橋梁などの上部床版工事業
- 2017年：角丸建設(株)：土木建築工事業
- 2020年：(株)和泉 (角丸建設(株)に吸収合併)
- 2020年：山昇建設(株) (ボンドエンジニアリングに吸収合併)
- 2023年：中信建設(株)：土木建築工事業



「中期経営計画2027」 資本政策

中期経営計画2026 資本政策の振り返り

① 「自己株式の取得」を実施

○ 「中期経営計画2026」の資本政策では、株主還元の一環として、2023年4月から2026年3月までの3カ年で自己株式を60億円取得する予定としておりました。

初年度である2024年3月期の自己株式取得については以下となります。

| | |
|---------------|--------------------------|
| (1) 取得した株式の総数 | 5,704,100 株 [※] |
| (2) 株式の取得総額 | 約67億円 |
| (3) 取得方法 | 「ToSTNeT-3」、「市場買付」 |

② 「自己株式の消却」を実施

※ 株式分割調整後株式数

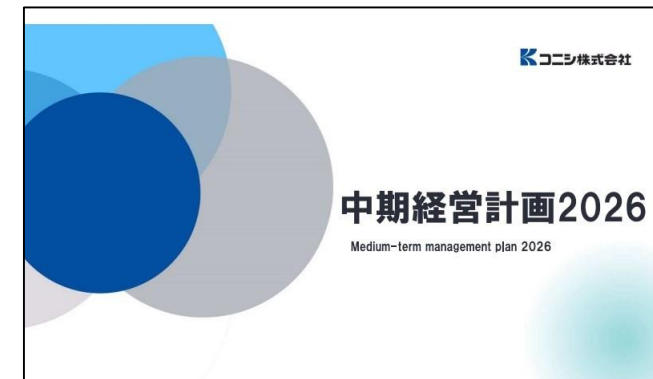
| | |
|-----------------|---|
| (1) 消却した自己株式の総数 | 11,000,000 株 [※] (消却前の発行済株式総数の13.5%) |
| (2) 消却実施日 | 2023年10月13日 |

③ 「株式分割」を実施

※ 株式分割調整後株式数

○ 投資家層の拡大と株式の流動性向上を目的に、株式分割の実施を取締役会にて決議（2023年11月21日）

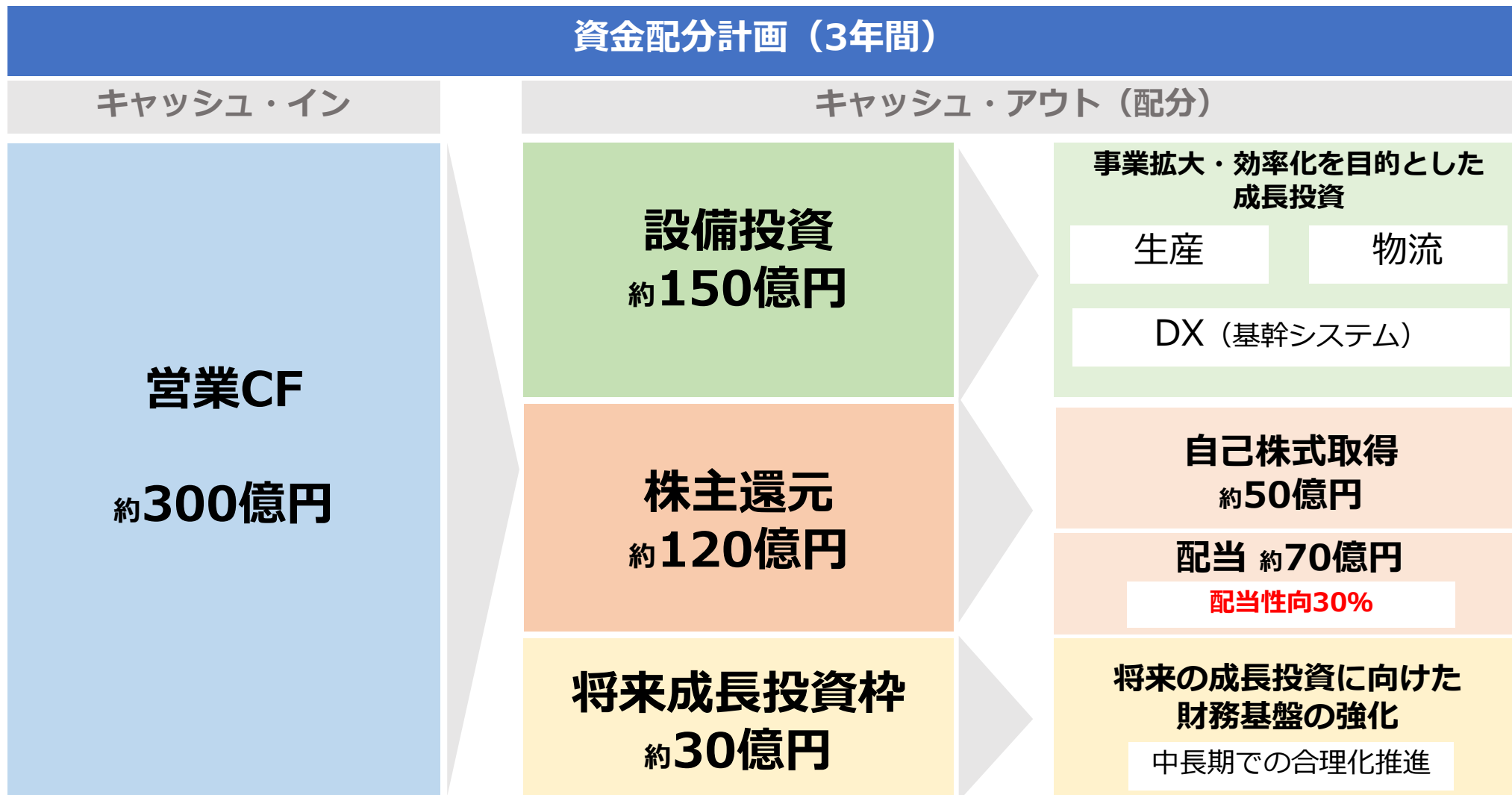
| | |
|-----------|--------------------|
| (1) 分割の方法 | 「1株につき2株」の割合をもって分割 |
| (2) 基準日 | 2023年12月31日 |
| (3) 効力発生日 | 2024年 1月 1日 |



【「中期経営計画2026」2023年5月26日開示】



成長に必要な設備投資に加え、安定的な配当と自己株式取得による株主還元の実施



- ※ M&Aに必要な資金については手元資金から充当する予定です。
- ※ 2024年3月期に自己株式を約67億円取得いたしました。
- ※ 取得する自己株式は原則消却する予定です。
- ※ 3年間の資金配分のイメージ図であり、運転資本の増減による影響は含めておりません。



～過去最大規模の設備投資を継続的に実施～

生産合理化、DXを推進



3年累計 約150億円

(※下記以外の設備投資含む)

① 生産・物流体制の強化

- 「コニシ栃木工場」新製造所・物流倉庫の建設 (2025年4月稼働予定)
 - ・ 水性接着剤の生産 2 拠点化(現在は滋賀工場のみ)によるBCP対策と東日本エリアへの配送効率向上
 - ・ 生産工程、充填、入出庫作業の自動化 (省人化によるコスト削減)

- 「コニシ滋賀工場」生産合理化の推進
 - ・ 生産工程、設備の見直しを行い、生産効率向上を図る(生産量増、コスト削減)

- 「サンライズ」シーリング材製造設備の増設・更新 (2026年4月までに随時稼働予定)
 - ・ 生産設備導入および既存設備更新 (生産効率向上、省人化によるコスト削減)

- 「ウォールボンド工業」新物流倉庫の建設 (2025年7月稼働予定)
 - ・ 入庫作業の自動化(省人化によるコスト削減)



約105億円

② DXの推進

- 新基幹システムの導入 (2025年4月導入予定)
 - ・ 現在の課題、ビジネス環境を考慮した効率的・合理的なシステムの導入



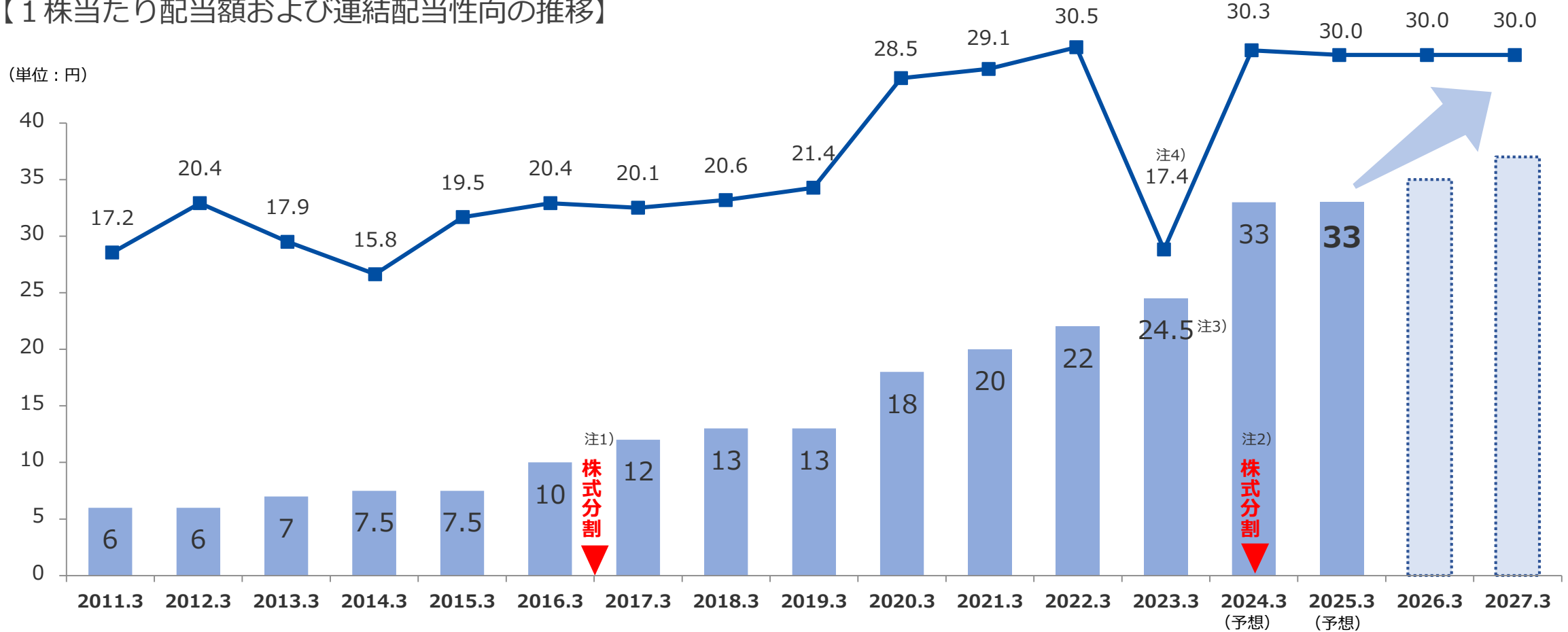
約15億円



配当方針

連結配当性向30%以上を維持し、毎期の業績を勘案しながら継続的かつ安定的な配当を実施する方針です。

【1株当たり配当額および連結配当性向の推移】



注1) 2016年4月1日付にて 株式分割 (1株→2株) しております。2016年3月期以前の1株当たり配当額については当該株式分割調整後の金額を記載しております。
 注2) 2024年1月1日付にて 株式分割 (1株→2株) しております。2024年12月31日以前の1株当たり配当額については当該株式分割調整後の金額を記載しております。
 注3) ボンド発売70周年記念配当5円を含む
 注4) 事業活動に直接の関わりのない不動産売却益4,989百万円(税引き後)は除外して配当額を決定しております。当該影響額を控除した配当性向は34.6%となります。

免責事項

業績予想などは、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまなリスクや不確定な要素などの要因により、異なる可能性があります。また、本資料は投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われますようお願い申し上げます。

<IRに関するお問い合わせ>

コニシ株式会社 経営企画室

TEL: 06-6228-2877

E-mail: konishi-ir@bond.co.jp